

約 350 万年前の植物化石

イベスイセイジュ(ヤマグルマ科スイセイジュ属)

あらふねやま荒船山の南西、長野県との境界周辺のかぶといわそう兜岩層で採集された化石です。かつて、スイセイジュは広く分布していた原始的な植物ですが、現在は、ネパール・中国・ミャンマーなどの涼しい場所でひっそりと生育するのみで、日本では絶滅した植物です。

井部弘さん、堀越武男さん、茂木伊一さんの3名は、下仁田町出身の理科教員で友人でした。マイカーが普及する以前はバスを利用、終点から1時間ほどの山道を登り、化石の調査をし、帰りには肩に食い込むほどのリュックを背負い、持ち帰った化石は丁寧にクリーニングをしたそうです。



下仁田町自然史館所蔵 SNM-F-kb-5



下仁田町自然史館所蔵 SNM-F-kb-4

イベスイセイジュの“イベ”は、井部弘さんにちなんでつけられたものです。

井部さん、堀越さん、茂木さんの化石は、群馬県立自然史博物館と、下仁田町自然史館に1500点以上が寄贈されています。

貴重な化石が公の機関により管理されていることはたいへん喜ばしい事です。

作成:下仁田自然学校 磯田 喜義

⑧ 化石産出地は国定公園内で、調査研究には許可が必要です。